

三陽機器 アーム式新草刈り機 刈り取り能力も高める



アームを延長し、刈り取り能力を高めたアーム式草刈り機

農業機械メーカーの三陽機器(岡山県庄原市)は、大型トラクターの後部に装着するアーム式草刈り機の新機種を開発、本格販売を始めた。従来のアーム式草刈り機は、モーター部で構成、モーター部は、首振り式で、傾斜したのり面などに使用できなかった。新機種は、アームの長さや、モーター部の位置などを調整できる。アームの長さや、モーター部の位置などを調整できる。アームの長さや、モーター部の位置などを調整できる。

モーター部の刈り幅は、十センチから九十センチ、油圧モーターも二個から三個に増強。草刈りできる面積(一時間当たり)は最大三千八百二十五平方メートル、従来の二千七百平方メートルの倍以上になった。価格は「ツインキナー B M 145」五十万九千円、トラクターに搭載する、簡易小売価格は百五万円。全国の農協や機械取扱店で販売している。初年度売り上げを目標としている。同社は「アーム式草刈り機シリーズの上位機種として、初年度売り上げを目標としている。同社は「アーム式草刈り機シリーズの上位機種として、初年度売り上げを目標としている。」

同社は「アーム式草刈り機シリーズの上位機種として、初年度売り上げを目標としている。同社は「アーム式草刈り機シリーズの上位機種として、初年度売り上げを目標としている。」

(岡山県庄原市)